



米国ニューヨーク国際芸術展に出演 神谷 浩二さん（高尾）

作家名『カグラタニ』として活動する画家。県内の高校を卒業後、大阪府のデザイン専門学校に進学。大阪府内で会社員をしていたとき、統合失調症を発症し津山に戻る。平成19年から、絵画制作を通じた障害者の自立支援に取り組むNPO法人灯心会に所属し、活動している。

県美術展覧会や障害者の芸術作品展「きらぼし★アート展」での入選は多数。現在48歳。

絵を描き始めたきっかけは？

子どものころから漫画やイラストを描いていました。自然に囲まれた環境で育ったので、ザリガニやフナ、カエルなどを捕まえて絵を描いていました。今でも生き物が好きで、作品の中によく登場しています。子どものころはあまり色は使わず、黒色のペンや鉛筆を多用していました。

絵を描く魅力は？

わたしは作品を描くとき、完成形を決めずに筆を走らせます。頭の中にあるイメージを描き起こしていくので、「自分にしか描けない作品ができた」という達成感が魅力です。さらにその作品が他者から良い評価を得たときは、とてもうれしいです。

ニューヨークの国際芸術展に出演した感想は？

令和元年9～10月に東京都の展覧会で関係者の目に留まり、ニューヨークに出展することができました。このことが決まったとき、とてもうれしかったです。出演した『群猫群虫図』はさまざまな猫を表情豊かに描いた作品で、約6カ月間かけて制作しました。タテ120cm・ヨコ90cmの色画用紙に、鉛筆で下書きし、色ペンと水彩絵の具で着色しています。米国に住む絵画収集家に購入してもらおうことができ、自分の作品が認められたと実感しました。

今後の展望は？

これからも、自分の描きたいものをじっくりと丁寧に描き続けていきたいです。今年は、県北地域で個展を開くことを目標にしているので、開催するときには、皆さん、ぜひわたしの絵を見に来てください。

▶ニューヨークの国際芸術展に出演した作品『群猫群虫図』



展覧会情報

きらぼし☆作品展
かがやく県北の星
とき 4月4日(土)
～25日(土)午前9
時～午後5時
ところ ペスタロ
ッチ館(鏡野町)



今月号の表紙は津山さくらまつりの様子です。昨年は晴天に恵まれて桜が咲き続けたため、来園者数が9年ぶりに10万人を超えた年でした。今年は暖冬なので、桜が早く咲くのではといわれています。年度変わりの気ぜわしい中で、市内の各地で目にする美しい桜の花は、気持ちを落ち着かせてくれます。(W)

モナコ公国ならではのお土産の一つに、オレンジリキユールがあります。面積の小さいモナコ公国には畑がほとんどありません。原料は、公道の両脇に植えられた街路樹のオレンジの木から収穫された実だそうです。しかも、元々捨てられていた実を使って開発されたとか。どんな味があるんでしょうね。(C)

広報写真を上手に撮りたいと思います。写真に関する本を読んでいます。その中で「写真は自分の内面を写し出す」という言葉が印象に残りました。写真を見ただけで撮影した人の気持ちが分かる人もいます。「春は津山」をテーマにインスタ写真を募集しています。詳しくは5ページをご覧ください。(三)



編集・発行
津山市企画財政部秘書広報室(市役所3階)
〒778-8501 岡山県津山市山北520

☎ 0868-32-2029
☎ 0868-32-2152
✉ kouhou@city.tsuyama.lg.jp

広報津山は、著作権保護のため再生紙と植物性インキを使用しています。読み終えた後はリサイクル(資源)にご協力ください

広報津山
電子版
QRコード

津山市公式
ウェブサイト
QRコード

津山市公式
LINE
QRコード

津山市公式
Instagram
QRコード

津山市公式
YouTube
QRコード

津山市公式
Facebook
QRコード